

Press Release

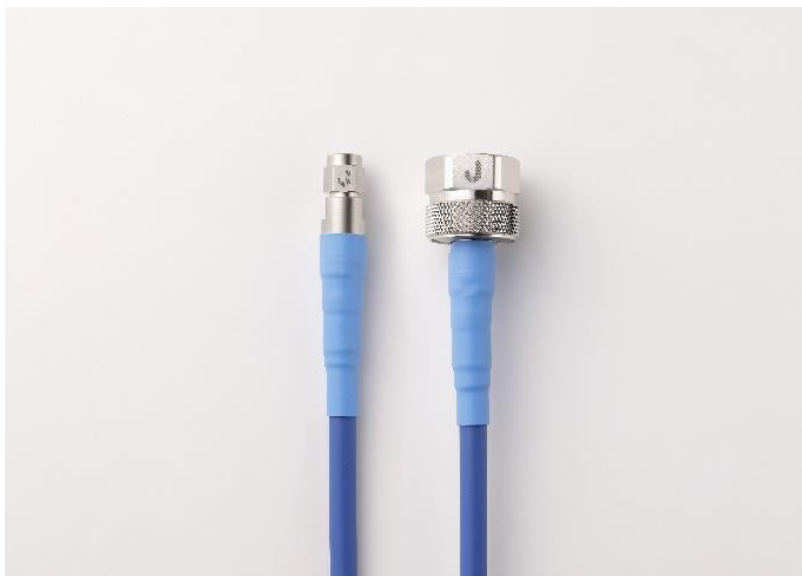
株式会社 潤工社
2024年 11月 7日

潤工社

自社ブランドによる同軸コネクタの提供を開始

～マイクロ波・ミリ波領域 ケーブルとコネクタの一貫開発で高度なニーズに対応～

株式会社潤工社（本社：茨城県笠間市 代表：十河 衛^{そごう まゐる}）は、「Junkosha マイクロ波・ミリ波同軸ケーブルアセンブリ」製品において、自社ブランドのコネクタ提供を 2025年2月までに開始します。潤工社では、山梨県内の工場では、世界最高水準の位相安定性や耐久性を有する同軸ケーブルの開発・製造、アセンブリ加工まで一貫して行い、国内、および海外市場に提供しています。当社は、強みであるフッ素ポリマー加工技術やケーブル製造技術に加え、コネクタの設計・開発力を強化し、ケーブルとコネクタを統合的に開発していきます。新世代の高速・大容量通信を支える信号伝送線路製品の品質・性能を持続的に向上させ、製品バリエーションを揃えることで、お客様の開発初期段階から高度化するニーズに迅速に対応し、最適なソリューションを提案します。



潤工社ブランドで提供するコネクタの一例

自社ブランドで提供するコネクタは、2024年11月時点で 80種類を予定しており、各コネクタには潤工社ブランドを象徴するロゴの J マークを刻印します。同コネクタは、現在採用中の在庫が終了次第、順次、提供を開始します。

代表取締役 経営責任者 十河 衛のコメント

「潤工社が創業 70 年で培ってきたフッ素ポリマー加工とケーブル製造のノウハウを基盤に、コネクタ設計・開発の分野でも新たな一歩を踏み出しました。マイクロ波やミリ波領域における競争力を強化し、弛まない製品開発と多様なご要求への迅速な対応を通じて、お客様にこれまで以上の価値を提供できると確信しています。今後も、最先端技術の革新を追求し、5G 通信や AI など成長分野でのニーズに応え、お客様の成功をサポートしてまいります」

5G 通信、AI、データセンターなど急成長する分野では、マイクロ波・ミリ波の応用領域が広がり、より厳しい性能が求められています。潤工社は、ケーブルとコネクタの一貫開発による高性能ソリューションを通じ、お客様の技術革新に貢献し続けます。

なお、2024 年 11 月 27 日（水）～29 日（金）パシフィコ横浜にて開催の「MWE 2024 / マイクロウェーブ展 2024」の当社ブース（展示ホール D、ブース番号 L-15）では、開発および計測・評価用として、世界最高水準の位相安定性や耐久性を実現した「Junkosha マイクロ波・ミリ波同軸ケーブルアセンブリ」と「VNA テストアセンブリ」を中心に展示します。ぜひご来場ください。

株式会社潤工社について (<https://www.junkosha.com>)

1954 年 4 月創業。「比類ない価値を創造し、社会を豊かに潤す」理念のもと、フッ素ポリマーをはじめハイパフォーマンスポリマーの成形加工で、ワイヤ・ケーブル、チューブ・継手、フィルム、射出成形品、それらを複合化させた高機能コンポーネント製品を提供しています。その技術は、「医療」「半導体・精密機械」「情報通信」「環境・エネルギー」「航空・宇宙」などに応用され、各分野の課題にソリューション提供しています。日本、欧米、中国の 8 拠点で 711 人のアソシエイトが 47 の国と地域で事業を展開、160 超の特許を保有しています。

報道お問い合わせ先：株式会社潤工社 広報（那須・杉浦）

携帯電話：080-9708-2389 または 080-3479-5957 E-Mail：PR@junkosha.com